

令和6年度 第5回 草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和6年10月23日(水)	開催時間	午後1時30分から 午後4時25分まで
出席者	①～④委員4名、施設担当職員6名、事務局4名、申請者		
傍聴者	①～④1人		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて 「草津市立西一会館・草津市立西一教育集会所」 「草津市立橋岡会館・草津市立橋岡教育集会所」 「草津市立新田会館・草津市立新田教育集会所」 「草津市立常盤東総合センター・草津市立芦浦教育集会所」 の指定管理者の候補者の選定		
1 開会 2 担当課より各施設概要等説明(4施設) 3 「草津市立西一会館・草津市立西一教育集会所」の指定管理者の候補者の選定【非公募】 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・採点(非公開) 4 「草津市立橋岡会館・草津市立橋岡教育集会所」の指定管理者の候補者の選定【非公募】 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・採点(非公開) 5 「草津市立新田会館・草津市立新田教育集会所」の指定管理者の候補者の選定【非公募】 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・採点(非公開) 6 「草津市立常盤東総合センター・草津市立芦浦教育集会所」の指定管理者の候補者の選定【非公募】 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・採点(非公開) 3～6 ・審査・採決(非公開) 7 事務連絡 8 閉会			

◆令和7年3月31日で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

## 1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

## 2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

### ①「草津市立西一会館・草津市立西一教育集会所」

◆特定非営利活動法人ユウ・アンド・アイ（以下「ユウ」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

＜委員＞：会員とボランティア会員との違いは。

＜ユウ＞：決定的な違いは、会員は総会に出席できるというところである。ボランティア会員は登録制である。

＜委員＞：ゼロカーボンシティの取組について教えてほしい。

＜ユウ＞：特段取り組んでいるわけではないが、社会福祉協議会と連携し資源のリサイクルを行っている。

＜委員＞：地区外からの参加者も多い印象であるが、理由を教えてほしい。

＜ユウ＞：地域の特徴として、新たに流入してこられる住民の方が非常に多く、ロコミ等で大津市や栗東市、守山市からも来ていただいている状況である。

＜委員＞：市では健幸都市の取組を進めているが、法人としてどのように考えているか。

＜ユウ＞：健康に関しては関心を持つ方が非常に多い。現在は健康講座や百歳体操、認知症予防等を実施している。健康というのは永遠のテーマでもあるので、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えている。

＜委員＞：高齢化が進む中で、今後独居の高齢者が問題になると考えるが、配食サービスを利用する高齢者のみの世帯について世帯数を把握しているのか。

＜ユウ＞：把握している。

＜委員＞：「中3特進教室」について、令和4年度と令和5年度を比べると参加人数が大幅に減少しているが、なぜか。

＜ユウ＞：子どもの絶対数が減っていることや、塾や家庭教師を利用する子どもが多いこと等が原因だと考えられる。今後は広報をさらに強化し、利用人数を増やしていきたい。

＜委員＞：中学生の自主活動学級について、1月あたり参加人数が6人程度と少ないが、なぜか。

＜ユウ＞：スポーツによって人気不人気があり参加人数に偏りがあるが、周知不足も原因の一つだと考えている。また、本事業は仲間づくりが主な目的であるが、中学生は仲間同士でグループに分かれる時期だということも影響していると考えている。

＜委員＞：教員免許を持っている職員がいるが、子どもたちの学習支援をしているのか。

＜ユウ＞：講座によっては教育委員会や民間企業等の協力を得て一緒にやっている。直接関わっている時もあり、平日は放課後に遊びに来る子どもたちの相手等をしている。

## ②「草津市立橋岡会館・草津市立橋岡教育集会所」

◆特定非営利活動法人熱と光（以下「熱と光」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

- <委員>：住民ニーズの把握について、どのような声が上がリ、どのように事業に生かしているのか。
- <熱と光>：各講座に対しアンケートを実施し、いただいた意見を次年度にどのように生かすかを考えている。定期開催のイベントについては1年間の申し込みであるためおおよその人数は把握できるが、不定期開催のイベントについては、周知徹底に努め、目標を30人に設定し受講者の確保に取り組んでいる。
- <委員>：法人の概要について、正会員10名、スタッフ会員等は0名となっている。会員数は増加傾向にあるのか、減少傾向にあるのか、どちらか。
- <熱と光>：会員数は横ばいである。
- <委員>：人材確保育成について、職員会議を月1回実施しているとのことだが、多くの取組を行う中で月1回の会議で共有を図れるのか。
- <熱と光>：朝礼は毎朝実施し行事予定を共有しており、また、必要に応じて行事の前にも連絡調整の会議を行っている。職員の人数は少ないが、助け合い、臨機応変に対応している。
- <委員>：職員の年齢構成はどのようになっているのか。
- <熱と光>：40代～70代と幅広い世代の職員が在籍している。
- <委員>：ゼロカーボンシティや健幸都市の推進に向けた取組で意識していることはあるか。
- <熱と光>：光熱水費の高騰により、節電やエアコンの設定温度への配慮等、環境に配慮した教室の運営を心掛けている。健康については、受講者の方と毎日元気に楽しく活動し、笑いが絶えず、リピーターの獲得に繋がっていると考えている。
- <委員>：受講者を増やすための取組としてどのような取組が功を奏していると考えているのか。
- <熱と光>：町内より町外が増えているという実績があるが、ロコミが大半である。

## ③「草津市立新田会館・草津市立新田教育集会所」

◆特定非営利活動法人心輪（以下「心輪」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

- <委員>：市民意識調査「結婚相手が被差別部落の人と分かった場合の対応」の結果について、近い学区の方が拒絶反応を示しやすいことについてはどのように捉えられているか。
- <心輪>：保護者や祖父母の体験の中でマイナスイメージが蓄積されており、何か起こった時に、悪い方向にイメージされることが多いからだと考えている。我々が実施している事業はこのようなマイナスイメージを払拭するために計画しており、人権の感覚について、例えば孫が行きたいと言ったコンサートについてきた祖父が、孫の喜ぶ姿を見て、少しずつ変わってくるというようなことがあるのではないかと考えている。
- <委員>：職員配置について、新規採用4名とあるが、これは新たな事業に必要な増員なのか。

- <心輪>：相談事業に新たに社会福祉士を雇用したいと考えており、教員免許保持者や教育指導の補助については世代交代を進めたいと考えている。
- <委員>：館長について、経理事務経験と記載があるが、その経験だけでよいのか。
- <心輪>：以前は小中学校に勤めており、管理職経験がある。
- <委員>：会員数26名でスタッフ会員9名と記載があるが、スタッフ会員というのはどのような意味か。
- <心輪>：会員数26名のうち、会館に勤めているのが9名という意味である。
- <委員>：資料の中に「アウトリーチ」という言葉があるが、必要な支援が届いていない市民がいた場合、どのような対応をするのか。
- <心輪>：ケース会議等で関係者の意見を聞き、必要な機関へつなぎたいと考えている。

#### ④「草津市立常盤東総合センター・草津市立芦浦教育集会所」

◆特定非営利活動法人ハート&ライト（以下「ハート」という。）による申請内容の説明：  
略

（以下 質疑応答）

- <委員>：調査研究において、利用者に対するアンケートの結果、その後の新しい展開があるか、また、利用者以外の声をどのように拾って事業展開をするのか教えてほしい。
- <ハート>：会館利用者に対するアンケートはもちろん、地域の全世帯を対象に利用者以外へのアンケートも実施しているが、回答率が非常に低く、有効な数値が得られていないのが現状である。アンケート以外では、職員が日常的に地域の中で様々な声を聞いており、そこからニーズを汲み取っている。
- <委員>：会員数が多いが、何か工夫している点はあるのか。
- <ハート>：会員募集はNPOの会報等でPRはしているが、特別に取り組んでいることはない。
- <委員>：ゼロカーボンシティの推進に向けた取組についてはどのように考えているか。
- <ハート>：光熱水費の削減やペーパーレスの取組、節電等、市の方針を理解し、できる範囲で運営に取り入れている。
- <委員>：子育て支援事業の参加人数はどのように数えているのか。
- <ハート>：親は含めず、参加した子どもの数である。
- <委員>：利用者を増やすためにはどのような工夫が必要であると考えているか。
- <ハート>：常盤学区については人口が少ないため、リピーターを増やすことが重要である。何回も来ていただける事業を考えていきたい。現在は水曜日にうどん屋をやっており、この事業については非常に好評である。次の一手を考えていきたい。
- <委員>：苦情やトラブルについてはどのような対応をしているのか。
- <ハート>：最近は大きな苦情や問題になるような大きなものはない。いただいたご意見で対応できるものは対応させていただいている。

### 3 採決

各委員による採点の結果、全施設が最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成

が得られたことから、指定管理者として各申請者を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。